

平成30年度「大学入試センター試験」直前指導

センター試験前日となりました。以下の点を改めて確認し、「最良の状態」で臨みましょう。

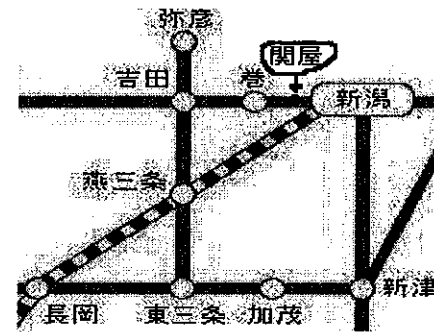
**1 携行品の確認**＝「受験上の注意」、「受験案内」を読み返し、要点を確認。

- ①受験票&写真票 → 裏に氏名を記入した「縦4cm×横3cm」の写真(同一の2枚)を貼り、自署欄に黒ボールペンで本人が2カ所記名する
- ②黒鉛筆→H、F、HBのみ。和歌・格言等の印刷は不可。シャープペンシルは不可!
- ③プラスチック製の消しゴム→鉛筆、消しゴムとも数本、数個準備。
- ④鉛筆削り→電動式・大型・ナイフ類は使用不可
- ⑤腕時計→実用品! 会場に時計があってもそれは目安にすぎない。
- ⑥ティッシュペーパー(袋・箱から取り出して中身だけ)・ハンカチ(格言入りはダメ)・目薬・眼鏡(使う人は受験票と写真票の「写真」もかけているはず)
- ⑦服装は自由。→英語のロゴや地図、漢字などが入っている服装は厳禁。  
受験教室では、寒暖の両方に対応できるように、薄着を重ねて、温度調節できるように。
- ⑧当日の天候を考えた履物。→試験中は持参した内履きに履き替えるのも良い。
- ⑨教科書、参考書、ノートは最小限! →知識よりもコンディションづくりが大切
- ⑩風邪薬(眠気を催す成分入り)の服用は、極力避ける。

**2 三高生の試験場** →日本歯科大学新潟生命歯学部試験場  
(新潟市中央区浜浦町1-8)裏面参照。

試験当日の電話: 025-267-1500

※当日何かあったら上記の番号に電話する。



**3 試験場までの交通**→公共交通機関(JR、バス)を利用

**行き** JR越後線「関屋駅」で下車。徒歩約10分。

- 信越線組 ①三条発6:36→新潟着7:28・(越後線へ)新潟発7:43→関屋着7:51  
②三条発6:55→新潟着7:47・(越後線へ)新潟発7:59→関屋着8:08
- 越後線組 ①吉田発6:54→関屋着7:41 ②吉田発7:14→関屋着8:02

**帰り** 初日(リスニング終了後)・2日目(理科②終了後)

- 信越線組 関屋発18:03→新潟着18:11・(信越線へ)新潟発18:30→三条着19:21  
関屋発18:49→新潟着18:56・(信越線へ)新潟発19:02→三条着19:52
- 越後線組 関屋発18:31→吉田着19:15

「三条→関屋」運賃840円。「吉田→関屋」運賃580円。

「えちごツーデーパス」(普通車自由席2日間乗り放題)利用可。2,690円

※注意 自家用車で送迎の際の事故・渋滞による遅刻には一切救済なし

※13日初日の帰路、会場前の浜浦町1丁目停留所19:10発の臨時バスがあります。新潟駅直前で途中停車なし。

**4 試験時間割の確認**

(1) 7:00=試験場の開門

1日目=1月13日(土)		2日目=1月14日(日)	
地歴・公民	9:30~11:40(2科目受験)	理科①	9:30~10:30
	10:40~11:40(1科目受験)	数学①	11:20~12:20(数I or IA)
国語	13:00~14:20	数学②	13:40~14:40(数II or IIB)
英語『筆記』	15:10~16:30	理科②	15:30~17:40(2科目受験)
『リスニング』	17:10~18:10		16:40~17:40(1科目受験)

※2科目受験の途中、解答用紙回収・配付の10分間は退出できない。

(2) 各試験の入室時間を守る。

例: 初日1限 地歴・公民(2科目受験) → 9:05までに入室・着席。9:30開始。  
(1科目受験) → 10:15までに入室・着席。10:40開始。

(3) 休憩時間の過ごし方を考える。→気持ちを切り替え、集中力を高める工夫を!

**5 当日の注意事項**

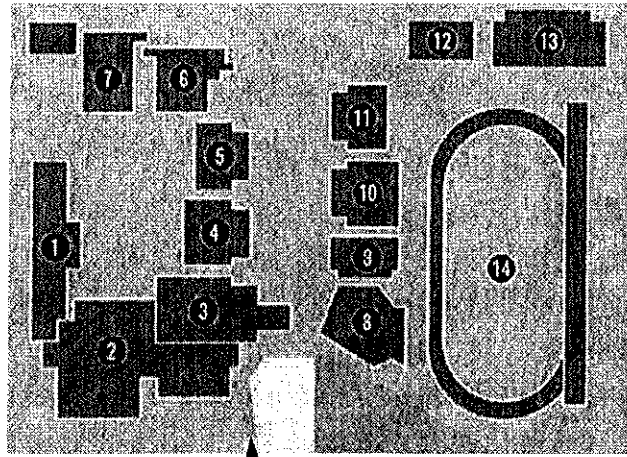
- (1) 行動にゆとりを持つ。(起床、朝食、出発時間、etc)
- (2) 遅刻、受験票の紛失など不測の事態に陥ったら、会場となる大学に電話する。  
三条高校や担任の先生に電話しても対応できない。
- (3) 不正と疑われる行為は厳禁。監督の指示に従って受験し、何かある時は手を挙げる。
- (4) 解答の際の注意事項
  - ・自己採点に備えて問題冊子に自分の解答を正確に残しておくこと。
  - ・問題用紙の表書きを良く読む。
  - ・受験番号、氏名、フリガナ、試験場コード、解答科目等を正しくマークする。
  - ・あわててやり始めず、まず問題全体を眺める。落ち着けばできる。
  - ・一つの問題がわからなくても長く考えず、印だけ付けて先に進む。  
その際にマークの一段ずれなどが生じないように注意!
  - ・最後の科目が終わるまで油断しない。
  - ・空き時間には正答チェックなどしない。次の時間に備えるのみ。
  - ・1日目、2日目ともに、帰宅後はゆっくり寝て、次の日に備えよう。

**6 自己採点について**

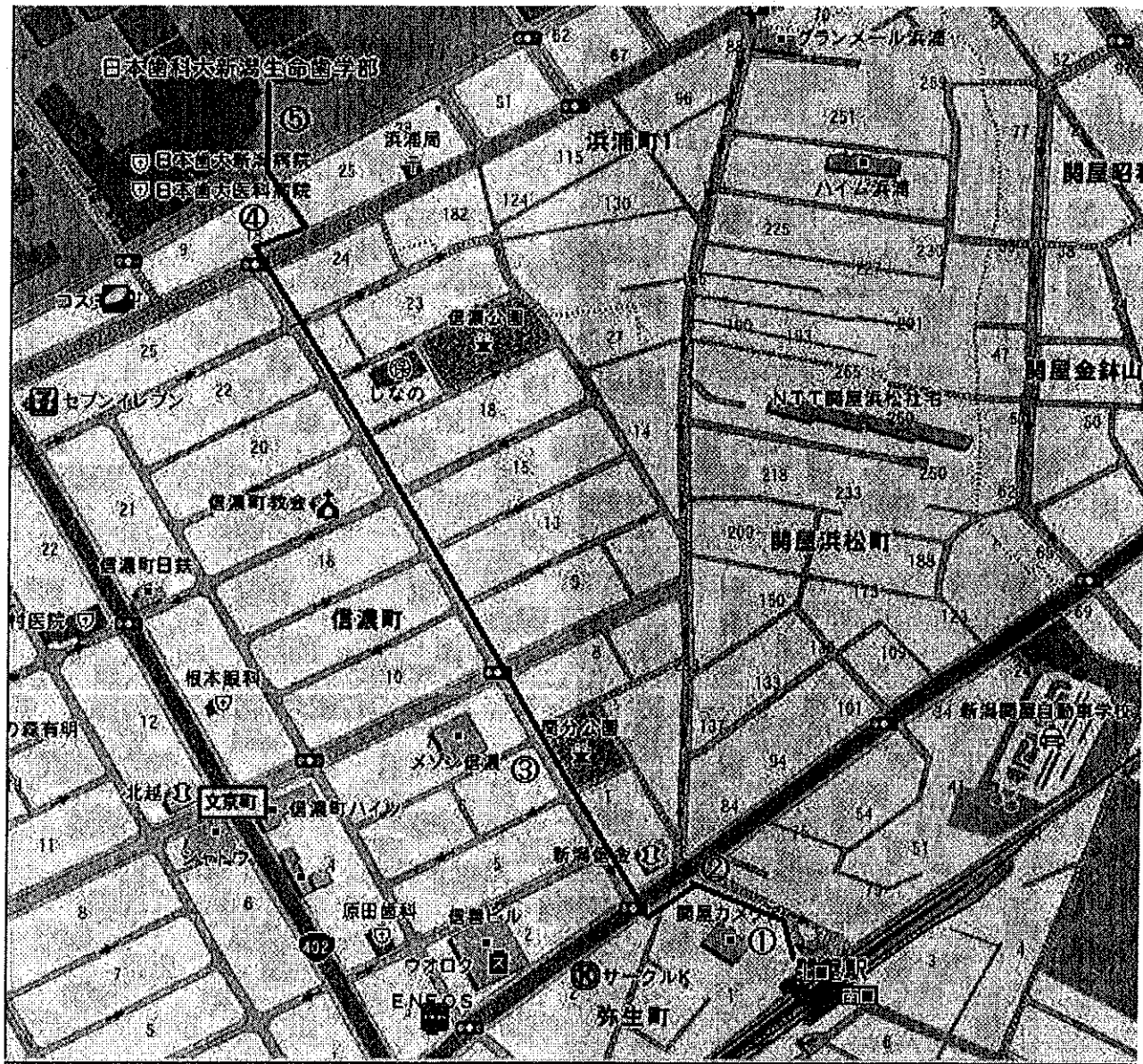
1月15日(月) 通常通り登校する。担任の指示に従い、各HRで自己採点。  
持参するもの: 問題用紙(印を付けておく)、黒ボールペン、鉛筆、消しゴム  
電卓、とりあえず昼食も持参。

**7 最後に**

開始前には深呼吸を。落ち着けば、大丈夫。



入口



※ 関屋駅から試験場までの経路（徒歩10分ほど）

- ①関屋駅（ホームから階段を上がる）改札口を出て右に進み、階段を降りて「北口」に出る。
- ②北口から道なりに進み、大きな通りに出たら左折。（サークルKの看板が見える）
- ③すぐの信号で道路を渡り、そのまま突き当たりまで進む。（関分公園の前を通る）
- ④突き当たりの信号で道路を渡り、右折し、すぐに左折する。正面が⑤「日本歯科大学新潟生命歯学部」

先輩のセンター試験アンケートより

#### 服装など

- 服装はなるべくシンプルなものに。履物は学校の内ばきを持っていき履き替えた。
- タオルでもちょっとした英語があると注意される。

#### 試験中

- 時計は教室の右脇にあったが、自分が一番左の列だったので見えなかった。
- 試験中は監督が常に歩き回っている。気にしないこと。自分の世界に入って問題を解いていると気にならない。
- 休み時間は絶対試験室を出た方がいい。暑さと二酸化炭素で集中力が切れてしまう。
- 分からない問題があっても焦らないこと。焦っても決して問題が解ける訳ではない。
- 友達と話した方がいいです。しかし、直前に終えた教科については深く言及してはいけません。
- 受検番号や試験場コードが間違っていれば努力が水の泡なので、チェックするよう数回言われるが、指示通りしっかり確認したほうがいい。

#### その他

- 昼食を食べ過ぎると午後の教科で眠くなってしまうため注意！ちょっと足りないかなぐらいがちょうどいいよ。
- 一日目が終わって「ダメだ…」と思ったけど、結果的にひどいわけではなかった。思い込みはやめた方がいい。
- 忘れ物には気をつけてください。
- 一日目で本当に疲れるので、帰ったらぐっすり眠ることをおすすめします。普段の模試の二倍以上は疲れます。